

東京学芸大学「現代GP」プロジェクト

持続可能な社会づくりのための環境学習活動
～多摩川バイオリーンにおけるエコミュージアムの展開～

学芸大生がひらく

多摩川
エコモーション



多摩川エコモーション第25回連続公開講演会
「持続可能な開発のための教育（ESD）論」ミニシンポジウム



ESD 論戦

国連ESDの10年（2005年から2014年）に関連して、現在、国内外でさまざまなESDの取組みが実施されています。しかし、ESDは必ずしも一枚岩ではなく、積極的推進派から批判的オルタナティブ派まで、多様な声があることが含まれています。ミニシンポジウムでは立場を異にする方々にお集まり頂いて討論を行い、それぞれの立場の考えを味わいながらESDについての理解を深め、新たな実践の可能性を探りたいと思います。

※ミニシンポジウムは、「持続可能な開発のための教育（ESD）論」（環境教育専攻選択必修科目、担当教員：原子栄一郎）の一環で行います。

■パネリスト■

・村上千里氏

特定非営利活動法人「持続可能な開発のための教育10年」推進会議事務局長

・平井朗氏

環境・平和研究会共同代表、大東文化大学非常勤講師

・三宅隆史氏

(社) シャンティ国際ボランティア会 (SVA) 企画調査室長
教育協力NGOネットワーク (JNNE) 事務局長

●と き 2009年1月24日（土）13:00～16:00

●ところ 東京学芸大学環境教育実践施設多目的室

●参加費 無料

●定員 40名（会場の都合上、できるだけ事前にお申し込みの上お越しください。）

※シンポジウム終了後にパネリストの方々と交えて簡単な茶話会を催します。
お時間のある方は是非ご参加下さい。

【お申し込み・お問い合わせ】

東京学芸大「多摩川エコモーション」（現代GP）事務局（担当：押田）
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 環境教育実践施設内
TEL. 042-329-7862 / 7861 FAX. 042-329-7669 <http://www.u-gakugei.ac.jp/GP/>